

報道関係各位

**「都市における緑」を再考、実験、発信するための拠点施設
「TOKYO MIDORI LABO.」が
2020年度グッドデザイン・ベスト100を受賞**



安田不動産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川雅弘）が、東京都中央区日本橋浜町で開発した複合ビル、「TOKYO MIDORI LABO.」（トーキョーミドリラボ）が、このたび2020年度グッドデザイン・ベスト100（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。日本橋浜町におけるグッドデザイン賞は3年連続、ベスト100は当社初の受賞となります。

「TOKYO MIDORI LABO.」は、『「手しごと」と『緑』のみえる街』というコンセプトを掲げ、「日本橋浜町の街づくり」に取り組んでいる当社と、都市生活と植物の距離を縮める多様な取り組みをしている株式会社 DAISHIZEN（本社：東京都港区、代表取締役社長：齊藤太一）がパートナーとなり、「都市における緑」を再考、実験、発信するための拠点施設として企画しました。オフィスエントランスは、内部空間でありながら床を土のままとし、日々変化する植物が人々を迎え入れ、執務空間は、テラス・キャットウォークなど多様な街との接点を設え、効率性・合理性からでなく、働くことをフィジカルに捉えなおした、新しいオフィス環境をつくり出しています。加えて、農の可能性を研究する1Fのキッチンや、都心に居ながら農業に触れることができる屋上菜園等、人と街が緑を介してつながる、地域に開かれたサステナブルな施設です。



【審査委員の評価コメント】

日本橋浜町に緑のコミュニティを作りたいという地元で 20 年以上前からこの地にビルを持ち、地域の街づくりに力を入れてきた安田不動産の思いが詰まったプロジェクトである。その計画を実現するために地域の緑の管理も行っている株式会社 DAISHIZEN がテナントとして入る前提で進められたテナントビルは、縦動線が建物外周に巻きつき、緑と人が一体的に建物を彩り、この街のシンボルとなっている。クライアントの取り組み、それに呼応して魅力ある建築が生まれており、プロジェクト全体が高く評価された。

【物件概要】

名 称：TOKYO MIDORI LABO. (トーキョーミドリラボ)

住 所：東京都中央区日本橋浜町 3-9-5

用 途：店舗・事務所

構造・規模：鉄骨造 地上 4 階 延床面積 527.23 ㎡

プロデューサー：安田不動産株式会社

ディレクター：株式会社 DAISHIZEN

デザイナー：株式会社オンデザインパートナーズ

株式会社 DAISHIZEN

※物件の詳細は、別紙 2020 年 10 月 2 日付ニュースリリースもご参照ください。

日本橋浜町で「都市における緑」を再考、実験、発信するための拠点施設「TOKYO MIDORI LABO.」オープン

http://www.yasuda-re.co.jp/news/pdf/20201002_3.pdf

【グッドデザイン賞 作品紹介ページ】

<https://www.g-mark.org/award/describe/50909>

【オンラインイベント「GOOD DESIGN SHOW 2020」】

10月30日(金)～11月3日(火)に予定していた「受賞展 GOOD DESIGN EXHIBITION 2020」に変わり「GOOD DESIGN SHOW 2020」と題したイベントを特設ウェブサイトでのオンライン企画を中心に、特色あるテーマでのリアル展示も合わせて実施いたします。

「GOOD DESIGN SHOW 2020」

会期：10月1日(木)～11月30日(月)

会場：特設ウェブサイトほか

参加：無料（事前登録不要）

<http://promo.g-mark.org/>

<リリースに関するお問い合わせ先>

安田不動産株式会社 経営企画部 担当：志村（しむら）・広海（ひろうみ）

T E L 03-5259-0517 F A X 03-5259-0532

<物件に関するお問い合わせ先>

安田不動産株式会社 開発第一部第一課 担当：平田（ひらた）・佐々木（ささき）

T E L 03-5259-0522 F A X 03-5259-0533